

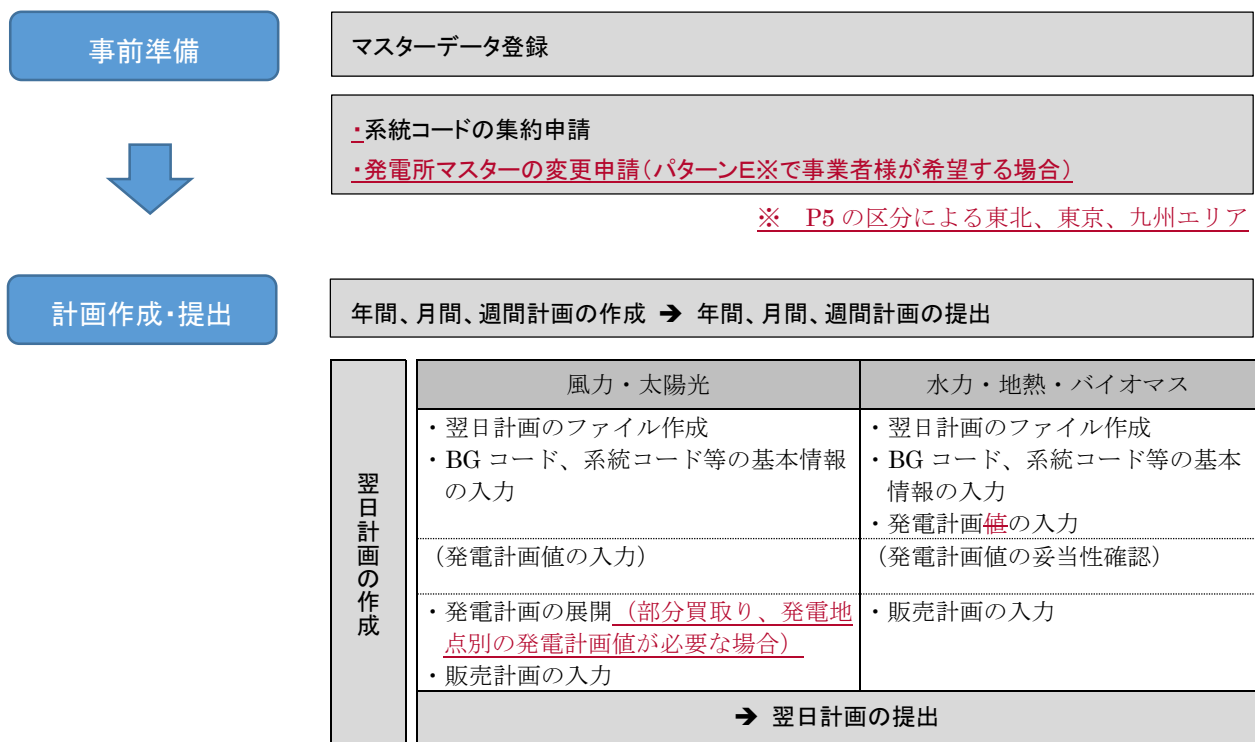
## 特例発電 BG (FIT 特例①) の計画作成フロー

特例発電バランシンググループ（以下、「特例発電 BG」）とは、託送供給等約款に定める契約者がいわゆる FIT 法に定める特定契約を締結している場合に、一般送配電事業者との間で発電量調整供給契約を締結する際に設定する、特定契約に係って受電する電気のみに係る発電バランシンググループのことを指します。本資料では、FIT インバランス特例制度①を適用する際に設定する特例発電 BG（以下、「特例①BG」）の発電計画作成フローについて説明します。

なお、特例①BG の発電計画作成にあたっては、小売電気事業者が広域機関へのマスターデータ登録申請や発電販売計画の提出を行います。特定供給者（再エネ事業者）が広域機関に申請や計画提出を行うことはありません。

### 1. 全体の概略フロー

小売電気事業者に実施していただく作業の概略フローは以下の通りです。



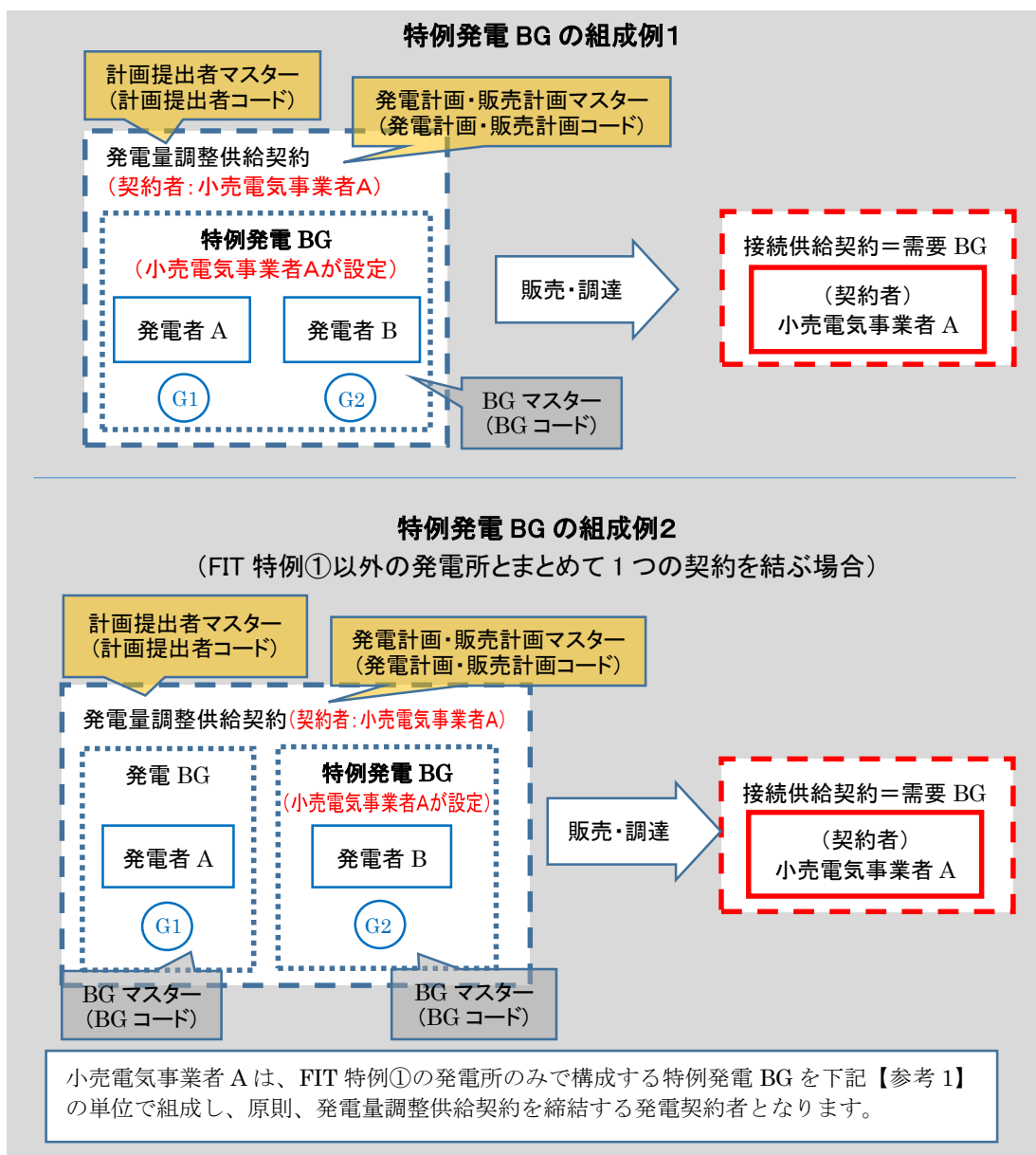
( ) : 一般送配電事業者による作業

### 2. 事前準備

#### (1) マスターデータ登録

- ・特例発電 BG の計画を提出するためには、BG コード、計画提出者コード、発電計画・販売計画コードが必要となりますので、コード取得及びマスターデータ登録申請を広域機関に行ってください。
- ・コード取得及びマスターデータの申請方法の詳細は、当機関の HP 公表資料（「マスターデータ登録

のお願い) をご覧ください。



**【参考1】特例発電 BG の組成単位**

～「小売全面自由化に伴う再エネ特措法施行規則等の改正に関する説明会」(資源エネルギー庁、平成 27 年 11 月 25 日) より～

A27 発電 BG はインバランスを算定する単位で組成します。(中略) 適用するインバランス料金単価の差異の観点に加え、FIT に係る発電 BG については、交付金(回避可能費用、インバランスリスク)を算定する観点及び裁定取引を防止する観点から、以下の表の区分に仕分けて BG を組成してください。

回避可能費用	FIT インバランス特例制度①		FIT インバ ランス 特例制度②	(参考) 特例制度 非適用
	変動電源 (太陽光、風力)	非変動電源 (水力、地熱、バイオマス)		
激変緩和措置 (24, 25 年度認定の単価) (26 年度以降認定の単価)	1	2	3	4
市場価格	5	6	7	8

(24・25 年度認定と 26 年度以降認定で区分する必要はない。)

## (2) 太陽光・風力の系統コードの集約申請(発番申請)

- ・下表と次頁に示すように、特例①BGの太陽光・風力用に系統コードの集約申請が必要な供給区域と、不要な供給区域があります。
- ・系統コードの集約申請が必要な供給区域については、太陽光、風力それぞれで複数の発電所をまとめた1つの系統コードの発番申請を行ってください。
- ・ただし、複数の小売電気事業者が買取り（いわゆる部分買取り）を行う発電所がある場合、または一般送配電事業者が発電地点別の計画値を求める場合（以下「発電地点別の発電計画値が必要な場合」）には、当該発電所は個別に計画管理する必要があります。その場合は、当該発電所は含めずに複数の発電所をまとめた系統コードの申請を行ってください。
- ・系統コードの集約申請方法の詳細は、当機関のHP公表資料（「特例発電BG（FIT特例①）における系統コードの集約および発電所マスターの変更申請について」）をご覧ください。別途HPで公表予定です。

※集約申請の不要なエリアもあります。供給区域によって取扱いが異なりますので、ご注意ください。

## (3) 水力・地熱・バイオマスの系統コードの集約申請(発番申請)

- ・下表に示すように、水力・地熱・バイオマスの複数の高圧発電所の集約が可能となる供給区域と、集約ができない供給区域があります。
- ・集約を希望される場合は、水力・地熱・バイオマス毎に系統コードの集約申請を行ってください。

### ◆申請が必要な系統コード（ ）は必要な場合のみ申請

供給区域 <b>[P]</b> は検討 中の会社	特例①BG						特例①BG 以外
	太陽光・風力			水力・地熱・バイオマス			
	特高	高圧	低圧 <sup>※1</sup>	特高	高圧	低圧 <sup>※1</sup>	
北海道 <b>[P]</b>	計画入力用 <sup>※2</sup>			個別	個別	群	※7
	個別	個別	群				
東北	個別	個別	群	個別	個別	群	※7
東京	個別	個別	群	個別	個別	群	※7
中部	個別	個別	群	個別	個別	群	※7
	<del>-(計画入力用)<sup>※4</sup></del>						
中部	集約			個別	個別	群	※7
	<del>-(個別)<sup>※3</sup></del>	<del>-(個別)<sup>※3</sup></del>					
北陸	計画入力用 <sup>※2</sup>			個別	個別	群	※7
	個別	個別	群				
関西	個別	個別	群	個別	個別	群	※7
	<del>-(計画入力用)<sup>※4</sup></del>						
中国	個別	個別	群	個別	個別	群	※7
	<del>-(計画入力用)<sup>※4</sup></del>						
四国	個別	集約		個別	個別	群	※7
		<del>-(個別)<sup>※3</sup></del>					
九州	個別	個別	群	個別	個別	群	※7
沖縄	集約			個別	個別	群	※7
	<del>-(個別)<sup>※3</sup></del>	<del>-(個別)<sup>※3</sup></del>					

※1 従来通り、低圧の複数の発電所を低圧群として系統コードを発番します。電源種別（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）毎に集約します。

※2 発電地点別及び低圧群の系統コードとは別に発番します。

- ※3 部分買取りや発電地点別の発電計画値が必要な場合にのみ発番します。
- ※4 低圧買取りの無い小売電気事業者に発番します。
- ※5 発電地点を集約して計画値を提出する場合に、発電地点別のコードとは別に発番します。ただし、集約できるのは高圧のみで、電源種別（水力、地熱、バイオマス）毎の集約となります。
- ※6 発電地点を集約して計画値を提出する場合は、発電地点別コードに替えて発番します。高圧・低圧の集約も可能です。ただし、電源種別（水力、地熱、バイオマス）毎の集約となります。
- ※7 特例①BGの水力・地熱・バイオマスと同じです。

◆系統コードの集約申請および発電計画の作成方法（供給区域ごと）

・集約申請および発電計画の作成は、太陽光、風力それぞれで行います。

供給区域 [P]は検討中の会社	系統コードの集約申請 (発番申請)	年間・月間・週間計画		翌日計画		
		小売電気事業者による入力 (系統コード)	小売電気事業者による入力 (発電計画値)	ステータス1 小売電気事業者による入力 (系統コード)	ステータス2 一般送配電事業者の計画 値入力箇所	ステータス3 小売電気事業者による入力 (発電計画の展開) <sup>※2</sup>
A. 中部、沖縄	→ 特高～低圧の複数の発電所をまとめた1つの系統コード(集約コード)を発番申請	→ 集約コード <sup>※1</sup>	→ 集約コード単位での発電計画値	→ 集約コード <sup>※1</sup>	→ 集約コード	→ 部分買取りや発電地点別の計画値は別途入力が必要
B. 四国	→ 高圧・低圧の複数の発電所をまとめた1つの系統コード(集約コード)を発番申請	→ 特高は全地点の系統コード、高圧・低圧は集約コード <sup>※1</sup>	→ 系統コード及び集約コード単位での発電計画値 <sup>※3</sup>	→ 特高は全地点の系統コード、高圧・低圧は集約コード <sup>※1</sup>	→ 集約コード、もしくは集約コードがない場合は各BGの左端の系統コードに代表して入力。ただし、同一BGに太陽光と風力が混在する場合は、一番左に太陽光、左から二番目に風力を入力	→ 一般送配電事業者の入力値を、系統コード単位での発電計画値に配分して入力一般送配電事業者の入力値から、特高の発電地点別の計画値を仕分けして入力 <sup>※3※4</sup>
C. 北海道 [P]、北陸	→ 計画入力用の系統コード(計画入力コード)を発番申請	→ 特高、高圧、低圧群の全地点の系統コードと、計画入力コード	→ 系統コード単位での発電計画値 <sup>※3</sup> (計画入力コード欄はゼロで可)	→ 特高、高圧、低圧群の全地点の系統コードと、計画入力コード	→ 計画入力コード	→ 一般送配電事業者の入力値を、系統コード単位での発電計画値に配分して入力 <sup>※3</sup>
D. 中部、関西、中国	→ 低圧群の系統コードがある場合は申請不要、ない場合は計画入力用の系統コード(計画入力コード)を発番申請	→ 特高、高圧の全地点の系統コードと、低圧群または計画入力コード	→ 系統コード単位での発電計画値 <sup>※3</sup> (計画入力コード欄はゼロで可)	→ 特高、高圧の全地点の系統コードと、低圧群または計画入力コード	→ 低圧群の系統コード、もしくは計画入力コード	→ 一般送配電事業者の入力値を、系統コード単位での発電計画値に配分して入力 <sup>※3</sup>
E. 東北、東京、九州	→ 集約申請は不要	→ 特高、高圧、低圧群の全地点の系統コード	→ 系統コード単位での発電計画値 <sup>※3※4</sup>	→ 特高、高圧、低圧群の全地点の系統コード	→ 各BGの左端のどこか1つの系統コードに代表して入力。ただし、同一BGに太陽光と風力が混在する場合は、一番左に太陽光、左から二番目に風力を入力	→ 一般送配電事業者の入力値を、系統コード単位での発電計画値に配分して入力 <sup>※3※4</sup>

※1 部分買取りや発電地点別の発電計画値が必要な場合は、当該地点の系統コードも追加します。

※2 部分買取りの場合は仕訳情報を、発電地点別の発電計画値が必要な場合(一般送配電事業者が系統運用上の理由により指定するもの)は設備容量比率などの方法で按分した値を入力します。

※3 発電計画の値(電力または電力量、発電上限、発電下限、優先順位)を空欄とすることはできません。なお、系統コード単位での発電計画値の配分において、仕訳情報または系統運用上の理由により必要なもの一般送配電事業者が入力するコード以外の系統コード、部分買取りや発電地点別の発電計画値が必要な場合以外の系統コードは、発電計画値をゼロとすることも可能です。

※4 一般送配電事業者が代表入力した地点において、発電計画値が、発電計画の発電上限と、発電所マスターで管理されている同時最大受電電力を超過しないようご注意ください。(発電計画値が発電上限と同時最大受電電力を超過していると、発電計画提出時に計画内不整合となります。)

なお、代表させる系統コード以外の発電計画値をゼロとして入力する場合には、代表させる系統コードの発電所マスターの同時最大受電電力の変更申請を行うことも可能です(低圧群の系統コードで代表させる場合は、低圧群の系統コードの同時最大受電電力)

力は「999,999,999」で設定されているため、発電所マスターの変更申請は不要です。)。本措置は FIT 特例①に限定したものですので、FIT 特例②に移行した場合などは正規の同時最大受電電力に戻してください。

◆翌日発電計画の作成イメージ (A:①中部、沖縄エリア)

～ 基本ケース ～

ステータス1

系統コード		集約コード (太陽光)		
発電 計画	BG 計			



ステータス2

系統コード		集約コード (太陽光)		
発電 計画	BG 計			
		一括入力値		



ステータス3※1

系統コード		集約コード (太陽光)		
発電 計画	BG 計			
		一括入力値		

※1 小売での発電計画値の修正不要(販売計画等を追加入力)

【凡例】

小売入力箇所

送配電入力箇所

～ 部分買取り発電所がある場合 ～

ステータス1

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	
発電 計画	BG 計			



ステータス2

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	
発電 計画	BG 計			
		一括入力値	A	



ステータス3

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	
発電 計画	BG 計			
		一括入力値	G1計画値 (仕訳情報)※2	B

$C = A - B$

※2 部分買取り発電所の実績は計画値に基づき仕訳分け

◆翌日発電計画の作成イメージ (B:四国エリア)

～ 基本ケース ～

ステータス1

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 <sup>※1</sup> (特高太陽光)	G2 <sup>※1</sup> (特高太陽光)	...
発電 計画	BG 計				



ステータス2

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (特高太陽光)	G2 (特高太陽光)	...
発電 計画	BG 計		A		
		一括入力値 <sup>※2</sup>			



ステータス3

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (特高太陽光)	G2 (特高太陽光)	...
発電 計画	BG 計		C = A - B		
		一括入力値	G1計画値 <sup>※4</sup>	G2計画値 <sup>※4</sup>	B

※1 特高発電地点を記入(部分買取りが無ければ高低圧受電の発電地点の記入は不要)

※2 特高の場合には各 BG の左端の系統コードに代表して入力。ただし、同一 BG に太陽光と風力が混在する場合は、一番左に太陽光、左から二番目に風力を入力

～ 部分買取り発電所がある場合 ～

ステータス1

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (高圧・部分買取り 太陽光)	G2 <sup>※1</sup> (特高太陽光)	...
発電 計画	BG 計				



ステータス2

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (高圧・部分買取り 太陽光)	G2 (特高太陽光)	...
発電 計画	BG 計		A		
		一括入力値			



ステータス3

系統コード		集約コード (太陽光)	G1 (高圧・部分買取り 太陽光)	G2 (特高太陽光)	...
発電 計画	BG 計		C = A - B		
		一括入力値	G1計画値 (仕訳情報) <sup>※3</sup>	G2計画値 <sup>※4</sup>	B

※3 部分買取り発電所の実績は計画値に基づき仕訳け

※4 仕訳情報および系統運用上の理由で必要なもの以外はゼロとすることも可能。



◆翌日発電計画の作成イメージ (C:北海道、北陸エリア)

～ 基本ケース ～

ステータス1

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				



ステータス2

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		A		
		一括入力値			



ステータス3

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		C = A - B		
		一括入力値	G1計画値 <sup>※1</sup>	G2計画値 <sup>※1</sup>	B

※1 仕訳情報および系統運用上の理由で必要なもの以外はゼロとすることも可能

～ 部分買取り発電所がある場合 ～

ステータス1

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				



ステータス2

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		A		
		一括入力値			



ステータス3

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		C = A - B		
		一括入力値	G1計画値 (仕訳情報) <sup>※2</sup>	G2計画値 <sup>※1</sup>	B

※2 部分買取り発電所の実績は計画値に基づき仕訳け

◆翌日発電計画の作成イメージ (D:中部、関西、中国エリアで、低圧群の系統コードがある場合)

～ 基本ケース ～

ステータス1

系統コード		G1 (低圧群太陽光)	G2 (太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				



ステータス2

系統コード		G1 (低圧群太陽光)	G2 (太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				
		一括入力値	A		



ステータス3

系統コード		G1 (低圧群太陽光)	G2 (太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				
		G1計画値	G2計画値 <sup>※1</sup>	G3計画値 <sup>※1</sup>	B

※1 仕訳情報および系統運用上の理由で必要なもの以外はゼロとすることも可能

～ 部分買取り発電所がある場合 ～

ステータス1

系統コード		G1 (低圧群太陽光)	G2 (部分買取り太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				



ステータス2

系統コード		G1 (低圧群太陽光)	G2 (部分買取り太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				
		一括入力値	A		



ステータス3

系統コード		G1 (低圧群太陽光)	G2 (部分買取り太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				
		G1計画値	G2計画値 (仕訳情報) <sup>※2</sup>	G3計画値 <sup>※1</sup>	B

※2 部分買取り発電所の実績は計画値に基づき仕訳け

◆翌日発電計画の作成イメージ (D:中部、関西、中国エリアで、低圧群の系統コードがない場合)

～ 基本ケース ～

ステータス1

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				



ステータス2

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		A		
		一括入力値			



ステータス3

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		C = A - B		
		一括入力値	G1計画値 <sup>※1</sup>	G2計画値 <sup>※1</sup>	B

※1 仕訳情報および系統運用上の理由で必要なもの以外はゼロとすることも可能

～ 部分買取り発電所がある場合 ～

ステータス1

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計				



ステータス2

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		A		
		一括入力値			



ステータス3

系統コード		計画入力コード (太陽光)	G1 (部分買取り太陽光)	G2 (太陽光)	...
発電 計画	BG計		C = A - B		
		一括入力値	G1計画値 (仕訳情報) <sup>※2</sup>	G2計画値 <sup>※1</sup>	B

※2 部分買取り発電所の実績は計画値に基づき仕訳け

◆翌日発電計画の作成イメージ (E:⑤東北、東京、九州エリア)

～ 基本ケース ～

ステータス1

系統コード		G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電計画	BG計				



ステータス2

系統コード		G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電計画	BG計				
		一括入力値※1			



ステータス3

系統コード		G1 (太陽光)	G2 (太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電計画	BG計	C=A-B			
		G1計画値	G2計画値※2	G3計画値※2	

※1 各 BG の左端の系統コードに代表して入力。ただし、同一 BG に太陽光と風力が混在する場合は、一番左に太陽光、左から二番目に風力を入力

～ 部分買取り発電所がある場合 ～

ステータス1

系統コード		G1 (太陽光)	G2 (部分買取り太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電計画	BG計				



ステータス2

系統コード		G1 (太陽光)	G2 (部分買取り太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電計画	BG計				
		一括入力値※1			



ステータス3

系統コード		G1 (太陽光)	G2 (部分買取り太陽光)	G3 (太陽光)	...
発電計画	BG計	C=A-B			
		G1計画値	G2計画値 (仕訳情報)※3	G3計画値※2	

※2 仕訳情報および系統運用上の理由で必要なもの以外はゼロとすることも可能

※3 部分買取り発電所の実績は計画値に基づき仕訳け

### 3. 計画作成・提出

#### (1) 発電計画の作成方法

- ・太陽光・風力は、前表に示すように、それぞれで1つの系統コードにまとめて計画値を入力する供給区域と、全地点を別々に入力する供給区域、およびその混合の供給区域があります。
- ・ただし、1つの系統コードにまとめて計画値を入力する供給区域についても、部分買取りを行う発電所がある場合、または発電地点別の発電計画値が必要な場合には、当該発電所は系統コード毎に入力します。

※供給区域によって取扱いが異なりますので、ご注意ください。

- ・水力・地熱・バイオマスは、系統コード毎に入力します。

#### (2) 年間、月間、週間計画

- ・小売電気事業者自らが計画を作成・提出します。

	年間計画 (第1～第2年度)	月間計画 (翌月、翌々月)	週間計画 (翌週、翌々週)
提出期限	毎年10月末日	毎月1日	毎週火曜日

- ・発電計画の値は、太陽光・風力の場合は以下の値を、水力・地熱・バイオマスの場合は再エネ事業者の計画値を入力します。

	太陽光	風力
最大、最小	月間L5値 <sup>※1</sup>	同左 <sup>※1</sup>
発電上限、発電下限	月間L5値 <sup>※1</sup>	同左 <sup>※1</sup>

※1 月間L5値の算定方法は、下記【参考2】を参照ください。新規運開等で発電実績がない場合は、既存の発電所の稼働実績または一般送配電事業者が提示するL5出力比率を参考に算定して計上します。

なお、特例①BGとしての計画値(L5値)がどこか一つの系統コードに入力されていれば、それ以外の系統コードの発電計画値をゼロとすることも可能です。

#### 【参考2】供給能力の算定方法

～「電力需給バランスに係る需要及び供給力計上ガイドライン」(資源エネルギー庁、平成27年2月)より～

##### イ. 電源別供給能力の算定方法

##### (ウ) 新エネルギー等

(中略)

##### ①風力

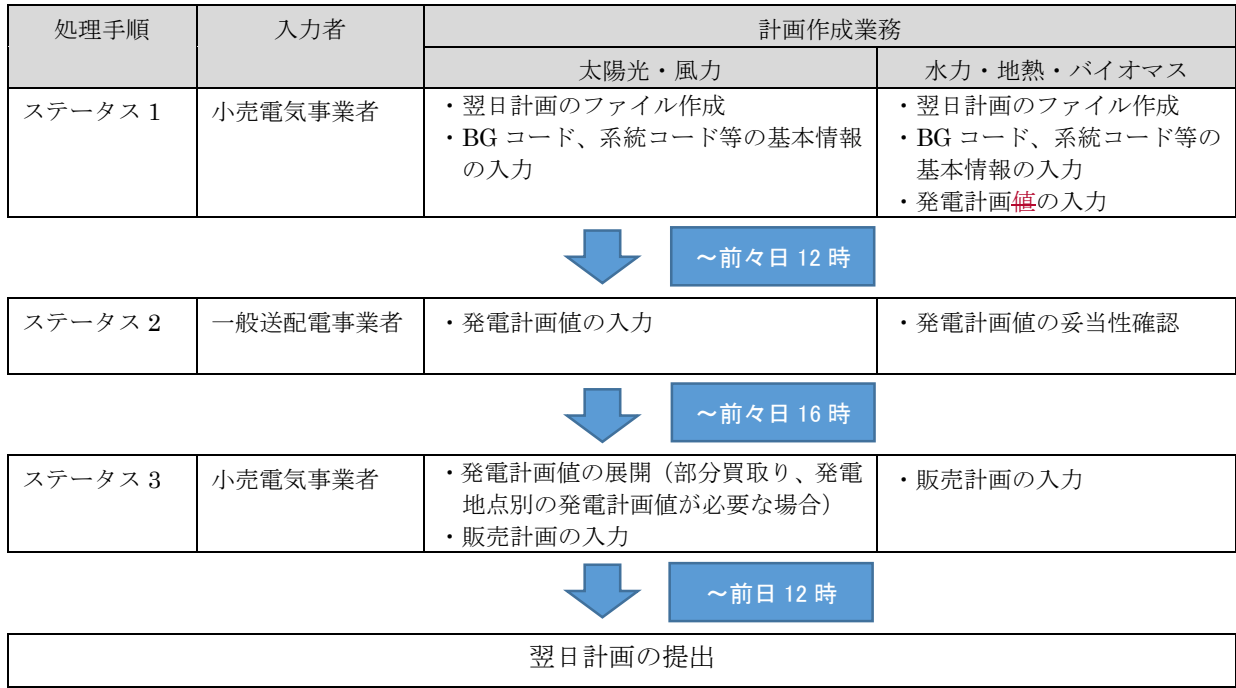
- ・エリア内の風力発電の供給能力は、過去の発電実績が把握可能な期間について、水力の評価手法と同様に、最大需要発生時(月内は同一時刻)における発電実績の下位5日平均値により評価する。

##### ②太陽光

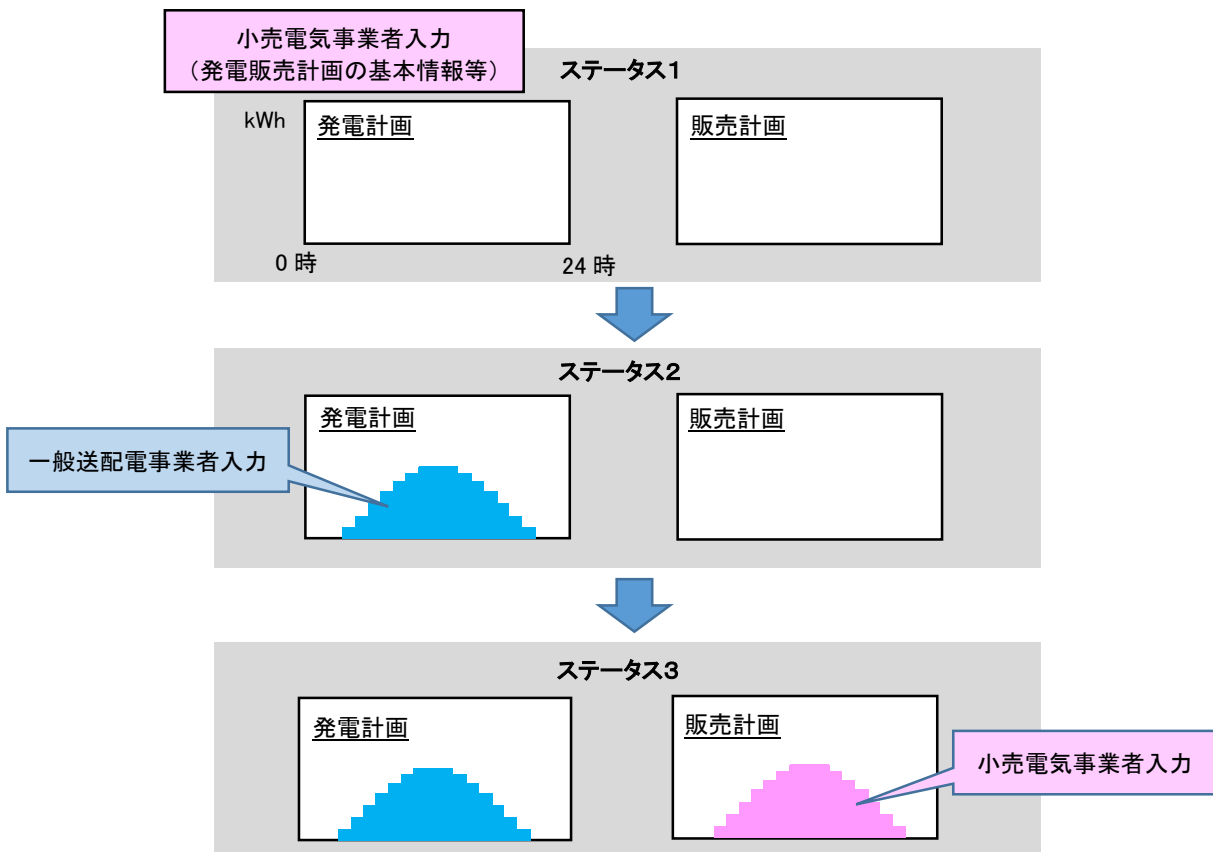
- ・エリア内の太陽光発電の供給能力は、過去20ヶ年の最大3日電力発生時における発電推計データ(計60データ)から、水力の評価手法を参考に下位5日平均値を算出し、これより自家消費分(算定対象期間は直近の5年間)を減じて評価する。
- ・特定電気事業者及び特定規模電気事業者において、過去の実績が把握出来ない場合は、把握可能な期間について評価する。

### (3) 翌日計画（前々日～前日に実施）

- ・特例①BG では、小売電気事業者と一般送配電事業者の双方が計画を入力するため、登録状態（ステータス）を管理する必要があります。
- ・ステータス 3 のファイルを広域システムに登録することで、翌日計画が提出されます。



#### ◆ 翌日計画のステータスに伴う遷移図（太陽光・風力の場合）



#### a. ステータス1

- ・ステータス1のファイルが未作成の場合、以降の処理を実施できないため、翌日計画の提出ができません。ステータス1のファイルは、年度分を事前に作成・登録が可能ですので、忘れずに作成ください。
- ・小売電気事業者は、「◆翌日計画の作成イメージ」で示すように、一般送配電事業者が入力する系統コードを、特例①BGの発電計画の中で一番左端に（同一BGに太陽光と風力が混在する場合は、一番左に太陽光用、左から二番目に風力用の系統コードを）入力してください。

#### b. ステータス2（太陽光・風力）

- ・一般送配電事業者は、エリア全体での太陽光・風力の発電電力量を想定したうえで、特例①BG毎の発電計画値を、BG太陽光・風力ごとに発電計画の左端の一般送配電事業者が指定する系統コードに（同一BGに太陽光と風力が混在する場合は、一番左の系統コードに太陽光、左から二番目に系統コードに風力の発電計画値を）一括して入力します。

#### c. ステータス3（太陽光・風力）

##### ■部分買取りの発電所がある場合

- ・小売電気事業者は、一括入力値を部分買取りの発電所とその他（修正後の一括入力値）に分割し、部分買取りの発電所に仕訳情報を入力します。計画値（電力または電力量、発電上限、発電下限、優先順位）を空欄とすることはできません。また、分割後の合計が一括入力値と一致し、その他（修正後の一括入力値）にマイナス値が入らないようにご注意ください。

##### ■発電地点別の発電計画値が必要な場合

- ・小売電気事業者は、一括入力値を発電地点別とその他（修正後の一括入力値）に配分します。配分方法は、設備容量比率などの方法で按分します。計画値（電力または電力量、発電上限、発電下限、優先順位）を空欄とすることはできません。また、按分値の合計が一括入力値と一致することが必要なため、端数処理にご確認ください。

##### ■一般送配電事業者が代表入力した地点

- ・発電計画値が、発電計画の発電上限と、発電所マスターで管理されている同時最大受電電力を超過しないようご注意ください。

## 4. その他

### (1) 激変緩和措置対象者の注意点

- ・不当な裁定取引を防止するという観点から、取引市場や他の小売電気事業者、発電契約者に販売した分の再エネ電気については、激変緩和措置の対象外となることにご確認ください。

※激変緩和措置の詳細は、資源エネルギー庁にお問い合わせください。

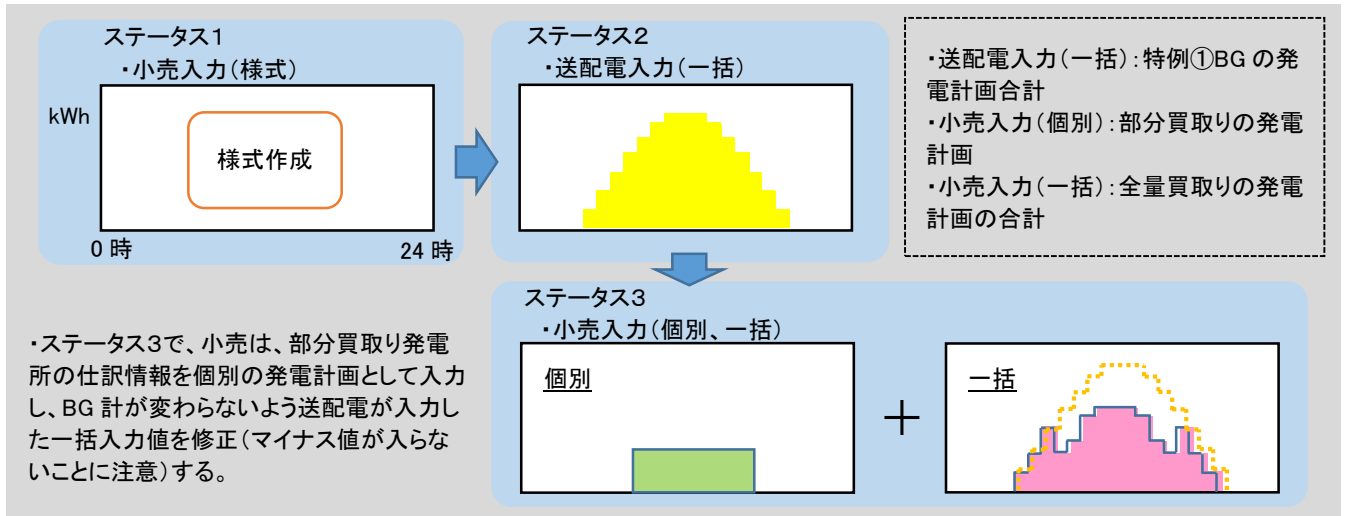
---



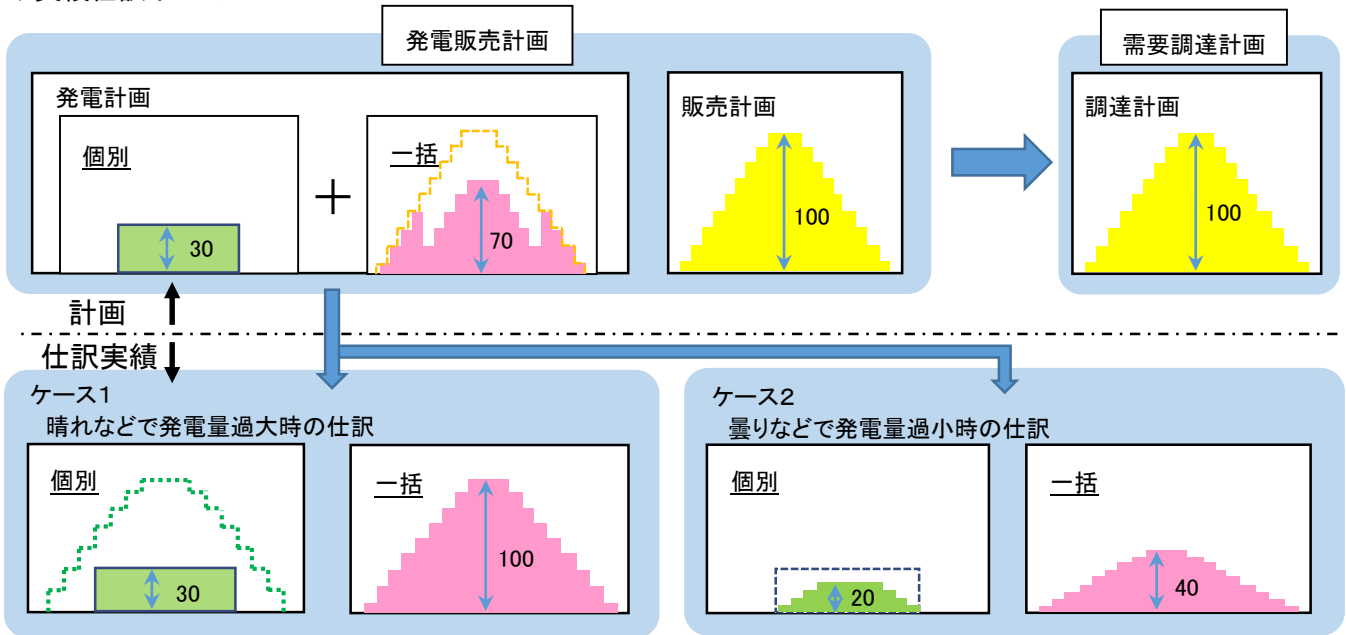


## (2) 部分買取り発電所がある場合の計画作成と実績仕訳のイメージ (太陽光・風力)

### ◆翌日発電計画の作成イメージ



### ◆実績仕訳イメージ



以上